

## 建築構造力学 B (Structural Analysis B)

担当教員名	莊所 直哉	
学科, 科目詳細	建築学科 3年 後期 専門科目 必修科目 1単位 講義	
学習・教育目標	(D)	
科目的概要	建築構造力学 Aに引き続き、断面の応力度、構造設計への応用、部材の変形について学習する。	
テキスト(参考文献)	寺本隆幸著:建築構造の力学I(静定力学編)、森北出版 (参考図書)松本慎也著:よくわかる構造力学の基本、秀和システム 中川肇著:基礎から学ぶ建築構造力学、井上書院	
履修上の注意	構造の骨組、数学に関して関心をもち、授業中はしっかり聞き板書すること。 演習は自分で問題を解き、確実理解することが大切です。判らない点はかならず質問し、理解し先に進むこと。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課 成績評価は、定期試験(70%)、演習課題(30%)で評価し、総合して60点以上を合格とする。演習課題は提出期限内のものを成績評価の対象とする。
連絡先	shojo@akashi.ac.jp	

## 授業の計画・内容

第1週 断面の応力度(1):軸方向応力度と曲げ応力度
第2週 断面の応力度(2):曲げ応力度
第3週 断面の応力度(3):せん断応力度
第4週 断面の応力度(4):軸方向力と曲げモーメントによる応力度
第5週 断面の応力度(5):演習
第6週 部材の設計への応用(1):許容応力度設計法の概要
第7週 部材の設計への応用(2):演習
第8週 中間試験
第9週 部材の変形(1):軸方向力による変形と曲げモーメントによる変形(たわみ曲線)
第10週 部材の変形(2):曲げモーメントによる変形(たわみ曲線)
第11週 部材の変形(3):曲げモーメントによる変形(たわみ曲線)
第12週 部材の変形(4):曲げモーメントによる変形(モールの定理)
第13週 部材の変形(5):せん断力による変形および座屈
第14週 部材の変形(6):演習
第15週 総合演習
期末試験